



平成 17 年 8 月 4 日

各 位

東京都中央区新川一丁目 26 番 2 号
株式会社 S J ホールディングス
代表取締役社長 李 堅
(J A S D A Q ・ コード 2 3 1 5)
問い合わせ先：経営企画室 近衛 伸賢
03-3206-1983(代表)

人民元の切り上げによる当社グループの業績への影響について

平成 17 年 7 月 21 日に、中国人民銀行より中国人民元切り上げの発表がありました。人民元と U S ドルとの交換比率を従来水準から 2.1% 切り上げ、以後通貨バスケット制に移行するというのがその内容であります。

当社国内子会社は、中国の子会社にシステム開発の業務委託(外注)を行っており、また、中国の子会社は中国国内の情報サービス事業を展開しております。人民元レートの変動は、業績の変動要素となりますが、今回の切り上げは小幅であり、当期の業績への影響は軽微なものにとどまるものと考えております。

<ご参考>

中長期的には、この切り上げ幅は拡大するものと見込まれますが、その際の影響につきましては、下記のとおりと考えております。

(1) 国内子会社向けの中国子会社からのシステム開発費について

前年度において、中国子会社からのシステム開発外注費は 578 百万円でありました。当期においてはこの金額がさらに増加することが見込まれております。

当社グループは、日本と中国とが一体となって共同開発を行う形を取っておりますので、中国人民元の切り上げはコストアップ要因となります。しかしながら、共同開発における日本と中国の工数比において、日本に比して安価である中国側の工数比を高め、かつ開発効率を向上させることにより、そのコストアップ要因を相殺できるよう、共同開発の仕組みの完成度を高める努力を行っているところであります。

(2) 中国国内の情報サービス事業について

中国国内の情報サービス事業に関しては、日本からの輸入等は現時点において発生しておりません。

従いまして、中国国内情報サービス事業の粗利益率自体は、人民元切り上げの影響は直接にはありません。しかしながら、中国市場での損益を当社グループにて連結する際は、人民元の切り上げは、売上・利益ともに増加する要因として働くこととなります。

以 上